

【レジメン】

day 1 ②アリムタ 500mg/m²
 day 1 ④アバスチン 15mg/kg
 day 2~21 休薬
 上記を3週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	□① デキサート8mg+ グラニセロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	□② アリムタ () mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。	10分
	□③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	□④ アバスチン () mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。 ※BVの投与速度は下記参照	90・60・30分
	□⑤ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 (/)	□① デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	□② デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後
day3 (/)	□① デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	□② デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後

※アバスチンの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

【化学療法に関わる指示】

- ・葉酸1日1回0.5mgを毎日服用（パンピタン1g）（アリムタ投与7日以上前から最終投与後22日目まで）
- ・ビタミンB12 1回1mg(フレスミンS 1A)を筋肉注射（アリムタ投与7日以上前から最終投与後22日目まで9週間毎）

嘔気時：□グラニセロンバッグ1mg/50mL 15分（day1~5のみ使用可能）

□メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
 上記効果が不十分な場合

□オランザピンOD錠5mg 1錠内服（1日1回のみ使用可）※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：□メトクロプラミド1A静注

□コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド（注射・錠剤）とH2ブロッカー（注射）またはPPI（注射）は原則併用禁忌です。

国立病院機構函館病院 呼吸器科
 令和元年5月1日